

高P連だより

号外
2017

◆事務局◆
名古屋市中区新栄一丁目49番10号
愛知県教育会館6階
TEL : (052) 261-5886
FAX : (052) 241-7048
【印刷】
手島印刷株式会社
TEL : (052) 522-1635

期待と希望の高校生活

愛知県公立高等学校PTA連合会

副会長 長谷川 尚 隆



この度はお子様の高等学校、ご入学、おめでとうございます。

保護者の皆様にも心よりお祝い申し上げます。お子様は、これから始まる高校生活に期待と希望で満ち溢れている事でしょう。高校生活の3年間は先の人生を左右する重要な時期です。自分の将来を真剣に考え、選択し、未来を切り開こうとして色々な壁に当たり、それらを乗り越えていかななくてはなりません。そ

んなお子様を時に厳しく、時に優しくしっかりと導く必要が保護者の皆様にあります。是非日々、お子様と学校での出来事、普段の生活での出来事、何でも構いませんしっかりとお子様と向き合いお話をしてください。お話をしながらお子様の成長を感じ温かく見守り、導きをお願いします。

高校生活では、いうまでもなく学習に力を注ぎ、自分の将来の夢に向け基礎学力をつけ、色々な知識、技能を身に付け、少しでも現実のものへと引

き寄せてください。また部活動では、先輩、後輩と切磋琢磨し自分を磨き上げて視野を広げ友人と絆を深めてください。また悩み事が出来た時に友人に相談し、問題を共有する事で更に絆が深まり共に成長できるはずですよ。ここでできた友人関係は、一生の宝物です。あつという間の高校生活ですがお子様の成長ぶりを肌で感じられる時だと思えます。充実した3年間で過ごせるようにサポートをお願いします。

最後になりますが、お子様の高校生活と保護者の皆様の橋渡しに、高P連もお手伝いさせていただきます。

何とぞご協力を賜りますようお願い申し上げます。

安心できる居場所

愛知県教育委員会

委員 松本 真理子



このたびは、お子様の高等学校への

ご入学おめでとうございます。皆様のお喜びもひとしおのことと存じます。そして、お子様は、これから始まる高校生活への期待に大きく胸を膨らませておられることでしょう。

組の方向で「あいちの人間像」の実現に向けた教育を推進しております。この実現のためには、家庭・地域・学校の連携が極めて重要でありますので、今後とも保護者の皆様方と、子ども達の健やかな成長に向けて、ともに手を携えながら進んで参りたいと考えております。

さて、高校時代は、対人関係や自分の性格、日々の出来事などについて悩む多感な時期であると同時に、自分の将来や人生についても考え、卒業後の進路を自らの力で決める大切な時期でもあります。これからの学校生活では、様々な人に出会い、多くの体験を積み、これまで以

上に広い世界を知ることにもなるでしょう。

このような高校生活を通して、子どもから大人へと心豊かに頼もしく成長していくお子様にとって、家庭は、とても大切な安心できる居場所であると思えます。どうか温かく見守り、励ましていただきますようお願いいたします。

私も教育委員会も、お子様の成長を全力で支えることのできる学校を目指し、努力する所存でございます。

皆様方の積極的なPTA活動及び学校への支援や地域の教育力向上へのお力添えをお願い申し上げますとともに、これから始まるお子様の高校生活が実り多く豊かなものになりますことをご祈念申し上げます。

本県では、平成28年2月、あいちの教育ビジョン2020「第三次愛知県教育振興基本計画」を策定し、「自らを高めること」と「社会に役立つこと」を基本的視点とし、「共に生きる」「自分を生かす」「学び続ける」「あいちを創る」「世界にはばたく」という五つの基本的な取

り、問題を共有する事で更に絆が深まり共に成長できるはずですよ。ここでできた友人関係は、一生の宝物です。あつという間の高校生活ですがお子様の成長ぶりを肌で感じられる時だと思えます。充実した3年間で過ごせるようにサポートをお願いします。

生徒は人とのさまざまな関わりの中で、他者を認め、思いやる心を育んでいきます。しかし、時には、環境に適応できなかったり、人間関係で悩んだりすることもあります。県教育委員会では、道徳教育を推進するとともに、心の専門家であるスクールカウンセラーや、福祉の専門家であるスクールソーシャルワーカーを配置するなど、教育相談体制の充実に努めております。

保護者の皆さまに

愛知県教育委員会 高等学校教育課

教育委員会では、お子さまが新しい環境に適応し、有意義な学校生活を送ることができるよう、保護者の皆さまと連携して学校教育の充実に努めております。

生きる力を身に付けるために

変化の激しいこれからの社会を生きる子どもたちは、高い志をもち、他者と協働しながら未来を切り開いていく力を身に付ける必要があります。各学校では、そのような力を育てるために、アクティブラーニングの手法を取り入れた授業を行うなどの工夫をしております。県教育委員会も、グローバル社会で活躍できる人材を育成するための事業や、科学技術教育の推進に重点を置いた事業などを実施し、主体的に学び、これからの社会をたくましく生き抜くための力を育ててまいります。

豊かな心を育むために

子どもたちが、自らの在り方生き方を考え、将来像を明確にしていくため、各学校では、教育活動全体を通じた系統的かつ計画的なキャリア教育の推進に努めております。県

社会人として自立していくために

子どもたちが、自らの在り方生き方を考え、将来像を明確にしていくため、各学校では、教育活動全体を通じた系統的かつ計画的なキャリア教育の推進に努めております。県

教育委員会では、社会人から直接学ぶ機会や就業体験の機会を積極的に設けるなど、望ましい勤労観、職業観を養い、

情報化社会を生き抜くために
スマートフォンなど情報通信機器の急速な進歩と普及は、生活に利便性をもたらす一方で、さまざまな問題も生んでいます。県教育委員会では、インターネット上のいじめ等

すべてのお子さまが笑顔で高校生活を送り、心身ともに健康な若者として成長されることを願っております。

社会的・職業的自立に必要な能力、態度を育てるための事業を実施してまいります。

のトラブルに速やかに対応できるように、「ネットパトロール」を実施しております。ご家庭でも、お子さまが情報通信機器の適切な使い方を身に付けられるよう、ご協力ください。

平成28年度 地区研修会 実施概要

平成28年度に実施された県内各地区の活動状況は下記の表のとおりです。毎年各地区においては、多くの会員の参加を得て、講演会、研究発表、シンポジウム等の内容で地区内の会員の親睦を図り、各单位PTAの活動状況を見直し、会員相互の意思疎通の場として、盛大に開催されております。

地区名	担当校	年月日	会場	参加人員	時間	概要
名瀬	名北 守山	H29.1.20 (金)	ルブラ王山	120人	13:50 ~ 16:00	講演 「人のために火を灯せば我が前明らかにならぬ成が如し」 NPO法人転輪太鼓代表理事 國分入道光雲
	名南 瑞陵	H29.1.27 (金)	瑞穂文化小劇場	350人	13:00 ~ 15:35	講演 「笑って学ぼう！ユーモアコミュニケーション」 オフィス米津代表 米津さち子
	尾東 春日井工業	H29.1.27 (金)	あさひのホール	250人	13:30 ~ 16:25	講演 「いのちの授業」～いのちを大切にすることを育む～ いのちをパトタッチする会代表 鈴木 中人
尾張	津島北	H28.5.10 (火)	稲沢市民会館	400人	14:00 ~ 16:00	講演 「生きることは学ぶこと」 ～東日本大震災・巨大津波から学んだこと～ 岩手県立大船渡高等学校元教頭 村上 育朗
知多	半田	H28.10.19 (水)	武豊町民会館 ゆめたろうプラザ 輝きホール	373人	14:00 ~ 16:40	講演 「スマホ世代の子どもたちへの叱り方のコツ」 (株)エスケイ代表取締役 麗 聡一郎
西三河	碧南工業	H28.6.9 (木)	刈谷市産業振興センター	61人	14:00 ~ 15:55	各校事例発表
	三好	H28.11.22 (火)	豊田市民文化会館	224人	14:20 ~ 16:20	講演 「夢を支えるメンタルサポート」 大阪体育大学 特任教授 岡澤 詳訓
東三河	豊橋工業	H28.5.16 (月)	ホテルアークリッシュ豊橋	98人	14:00 ~ 17:30	役員会・総会 講演 「ロケで東三河を元気に！～撮影の裏話～」 豊橋観光コンベンション協会 鈴木 恵子
		H28.11.15 (火)	ライフポートとよはし	288人	13:00 ~ 15:00	講演 「ジュニアアスリートの食事 トップアスリートを目指す食べ方」 東海学園大学 健康栄養学部 准教授 松島 佳子

平成6年度愛知県立西尾東高等学校卒業
廣瀬 誠

愛知の若者

平成24年度愛知県立蒲郡東高等学校卒業
小山 哲ノ介

私は、高校時代に柔道を始めました。高校二年生の時、病気がから視力が極度に低下し、視力の衰えとともに柔道の難し

プロファイル
愛知県西尾市出身。筑波大学理療科教員養成施設卒業。現愛知県立名古屋盲学校教諭。高校時代から柔道を始め、十七歳のときに視神経の病気がかかって視力が大幅に落ち、視覚障害者柔道に転向。初出場したアテネ大会から4大会連続でパラリンピック出場。アテネ大会での銀メダルに続き、リオデジャネイロ大会で銀メダル獲得。

私は、高校時代に柔道を始めました。高校二年生の時、病気がから視力が極度に低下し、視力の衰えとともに柔道の難し

プロファイル
愛知県西尾市出身。筑波大学理療科教員養成施設卒業。現愛知県立名古屋盲学校教諭。高校時代から柔道を始め、十七歳のときに視神経の病気がかかって視力が大幅に落ち、視覚障害者柔道に転向。初出場したアテネ大会から4大会連続でパラリンピック出場。アテネ大会での銀メダルに続き、リオデジャネイロ大会で銀メダル獲得。

今回のリオ大会を振り返って感じたことは、現状に甘んじることなく、常に向上心を持ち続けること、そして、一人だけの力ではなく、多くの方の支えが大きな力になることです。

私は、視覚障害者になった当時からの支えだった柔道を通じたことで、いろいろな人に出会い、人生観が大きく変わりました。今

さを感じるようになりました。また、当時は日に日にできないことが増えてきて、「障害は不幸」だと思っていました。そんな折、視覚障害者柔道を知り、その道を進むことができた。その後、盲学校の教員をしながら、視覚障害者柔道に打ち込み、12年前に初めて参加したアテネパラリンピックで銀メダルを獲得し、今回のリオ大会で二つ目の銀メダルを獲得できました。

今回のリオ大会では、本当に多くの素晴らしい経験をさせてもらいました。どんな状況であろうとも、自分の人生に負い目を持つことなく精一杯生きることの大切さは、すべての人に言えることだと思えます。



今回のリオ大会では、本当に多くの素晴らしい経験をさせてもらいました。どんな状況であろうとも、自分の人生に負い目を持つことなく精一杯生きることの大切さは、すべての人に言えることだと思えます。

「2020年東京オリンピックでエチオピアの選手達が、大活躍する。」それが今の僕の目標です。

僕が青年海外協力隊に応募した理由は、国際協力の現場を直接見てみたい、そんな理由で応募し、現在に至ります。

最初にエチオピアの上司から、「お前の仕事はエチオピアの陸上を強くすることだ。」と言われ、言葉も文化も違う、慣れない異国の地で何をしたらいいかわからず、辛い毎日でした。同僚や選手と過ごすに連れて、何が必要なのか少しずつ見えてきて、日本のスポーツ機関の協力のもと食事等の栄養改善やスポーツ科学のサポートによるエチオピアの陸上を強化するためのプロジェクトをスタートすることができました。また未来のメダリストを育成するために、学校巡回型のスポーツ教室も練習の合間を縫って実施し、スポーツの価値を子供たちに伝えたいです。

隊に応募した理由は、国際協力の現場を直接見てみたい、そんな理由で応募し、現在に至ります。

どちらの活動もエチオピア人の温かい協力のもと行うことができている。残りの在任期間も、「エチオピア人の為に」ではなく、「エチオピア人と共に動く」活動に取り組んでいきたいと思っています。

どちらの活動もエチオピア人の温かい協力のもと行うことができている。残りの在任期間も、「エチオピア人の為に」ではなく、「エチオピア人と共に動く」活動に取り組んでいきたいと思っています。

どちらの活動もエチオピア人の温かい協力のもと行うことができている。残りの在任期間も、「エチオピア人の為に」ではなく、「エチオピア人と共に動く」活動に取り組んでいきたいと思っています。

どちらの活動もエチオピア人の温かい協力のもと行うことができている。残りの在任期間も、「エチオピア人の為に」ではなく、「エチオピア人と共に動く」活動に取り組んでいきたいと思っています。



5000 m & 10000 m世界記録保持者ケネニサバケレさんと

事務局 だより

各学校のPTAに加入する保護者の皆様には、愛知県公立高等学校PTA連合会(愛知県高P連)に加入していただいております。組織と活動の概要を紹介します。

愛知県公立高等学校PTA連合会

● 会員
愛知県の公立高等学校及び特別支援学校(名古屋市立除く)合わせて17校のPTA会員が加入する組織です。会員数は約13万人余です。

● 目的と事業
会員相互の連携と協力を図り、教育の振興充実に寄与することを目的とし、次の事業を実施しています。

- PTA活動の研究・調査及び連絡調整
- 会員の研修
- 教育環境の整備促進
- 児童生徒の安全・健康と福祉の増進
- 広報誌「高P連だより」の発行
- 地区研修会の実施

● 会費(1人年額・円)

年	会費
特別支援学校	50
高等学校	100
専攻科	150
定時通信科	100
全日制	150

● 平成29年度の主要行事予定

- 愛知県高P連総会及びPTA指導者研修会(研修会は県教委と共催) 6月2日(金)
- 会場 愛知産業労働センター
- 東海地区高P連大会(三重大会) 6月16日(金)
- 会場 三重県総合文化センター
- 全国高P連第67回大会(静岡大会) 8月24日(木)・25日(金)
- 会場 小笠山総合運動公園他
- 地区別研修会
県内5地区(名瀬・西三・東三・尾張・知多)ごとに開催します。

● 愛知県高P連見舞金支給制度

● 見舞金の支給対象
児童生徒の学校管理下における災害

● 保護者及び児童生徒のPTA活動中における災害

スマートフォンが普及し、未成年者のインターネット関連トラブルが増加しています。フィルタリング機能を活用するなど、安全な利用方法について日頃から家庭内で話し合っておきましょう。

■ インターネット通販
SNSサイトの広告で、お試し価格に惹かれて注文したダイエットサプリが定期購入になっていた。問い合わせようとしたが、SNSサイトから広告が消えてしまい、注文した通販サイトが見つけれない。というようなトラブルが目立っています。

通信販売はクーリング・オフ制度の適用がありません。購入前には、広告の表示内容だけでなく、通販サイトで購入や解約の条件、返品特約を十分確認し、表示内容も保存しておきましょう。

また、「お金を振り込んだのに商品が届かない」といったトラブルも見られます。通販サイト利用時には、事業者の所在地や電話番号等が記載されているかを必ず確認しましょう。

■ ワンクリック請求
無料だと思ってアクセスしたサイトで、「18歳以上」をクリックすると、突然登録となり、高額な請求画面が張り付いて消えなくなる「ワンクリック請求」のトラブルが多く見られます。

無料だと思って申し込んだ場合、契約が有効に成立しているとは限りませんので、請求されるまま支払わないようにしましょう。また、「誤作動の方・退会の方はこちら」と誘導されることがありますが、相手には、決して連絡しないでください。

※インターネット広告で「請求を止められる」という業者に相談し、高額な解約交渉料を請求されるケースも見られます。公的な相談窓口が料金を請求することはありません。広告や事業者の説明をうのみにしないよう注意しましょう。

■ 困ったときの相談先
不安に思ったり、トラブルに巻き込まれたりした場合は、消費生活相談窓口にご相談ください。

【消費者ホットライン 188 (いやや!)]
(最寄りの相談窓口につながります。)

■ もっと詳しく学ぶには
「消費生活情報～あいち暮らしWEB」では、消費生活に役立つ情報や学習コンテンツを提供しています。是非御活用ください。

あいち暮らし WEB 検索

● 支給要件
児童生徒が日本スポーツ振興センターに、保護者が愛知県高P連に加入していること。

● 支給対象外
故意、第三者からの加害事故の場合などは支給しません。

● 申請手続き
学校が、日本スポーツ振興センターの支払い決定を受けて申請手続きを行います。

● 児童生徒の学校管理下における災害に対する見舞金の額
500万円

● 死亡見舞金
(登下校中は250万円)

● 障害見舞金
日本スポーツ振興センター障害見舞金の20%の金額

● 治療見舞金
日本スポーツ振興センターへ申請した医療費総額(給付金請求額合計)が月額7万5千円以上の場合、その8%の金額(千円未満切捨て)

(注)ただし、医療費総額が26万7千円以上の場合には、高額療養費制度に関する計算方法により異なります。

● 給付金の対象
日本国内における高校生の生活全般に起因する賠償責任、PTA活動遂行に起因する賠償責任を24時間補償します。

● 掛金と加入手続き
年間1人当り400円。各学校のPTA単位で団体加入します。

● 事故の報告
事故が発生したときは、生徒・保護者・PTAからフリーダイヤルに連絡してください。

● 愛知県高P連高校生総合保障制度

● 保険の性格
愛知県高P連が主催する団体保険です。

● 生徒個人が入学時に任意で加入します。

● 「自転車総合保険」と「こども総合保険」を合わせ、生徒の傷害と賠償責任について24時間補償します。

● 補償期間は高校入学時から3年間です。

● 加入者数
毎年の新入生の加入者は1万人を超え、新入生の約30%に相当します。

● 団体の割引
団体保険であるため、個人で契約するよりも保険料が30%割引となります。

● 育英高額プランを設定
平成27年度入学生から、育英費用に一時金900万円を上乗せするプランを開始しております。

● 加入手続き
3月下旬の合格者出校日に各学校において、募集書類を配付していただいております。申込書を期限までに郵送すれば、入学式の翌日から補償されます。

● 事故の報告
フリーダイヤルなどで報告してください。